

第69回

全国理容競技大会in和歌山

平成29年10月16日(月)和歌山市の和歌山ビッグホエールにおいて「紀の国未来への伝承 匠の技」をテーマに第69回全国理容競技大会が、開催されました。

広島県選手団一行は、大会前日の15日午後、雨が降る和歌山市内のホテルに到着するや否や翌日の競技大会に向けて練習を開始。そして中には朝方近くまで練習していた選手もいました。そうです、既に闘いは始まっていました。

雨模様で少し肌寒い大会当日となりましたが、続々と全国から各都道府県の選手にモデル、応援の人達が集い会場はえも言われぬ熱気に包まれていました。

午前8時50分に開会式が始まり大森利夫大会委員長(全理連理事長)、中谷進大会実行委員長(和歌山県理容組合理事長)の挨拶、来賓の祝辞などがありそして選手宣誓の力強い宣言で闘いの幕が上がリ競技開始です。

- 第1部門クラシカルカット・ファッションカテゴリーに小島広大選手と花本真也選手、
- 第2部門レディスカット・パーマスタイルに西村昌紀選手、
- 第3部門全理連ニューヘア「NEW HAIR gain-G」に田浦宏光選手、
- マスタースタylist部門「吉宗大賞」に小笹栄治選手が参戦しました。

各選手とも日頃の練習成果を余す事無く発揮しようと全力で挑戦されていました。競技が終わった後の汗が滲む姿に感動すら覚えます。

各々の競技が終わると審査員によるジャッジメントタイムの始まりです。この時間もまた、緊張せざるを得ず、自分のモデル周辺での審査員の一挙手一投足から目が離せません。そんな中、第2部門レディスカット・パーマスタイル【マネキン】の審査員として島田貴一県講師が活躍されていました。

全ての競技が終わり結果を待つ時間が訪れたのですが、会場にいる全ての人が1秒1秒を大変長く感じたのではないのでしょうか。

いよいよ表彰式が始まり、まずはマスタースタylist部門「吉宗大賞」の発表です。なんと、「敢闘賞 4位で小笹栄治選手」が舞台上に、皆大喜びです。

続いて第1部門クラシカルカット・ファッションカテゴリーで「敢闘賞 4位で小島広大選手」「敢闘賞 8位で花本真也選手」のダブル入賞でビックリ!またまた皆大喜び、テンション大盛り上がりとなりました。おめでとうございます!

第3部門全理連ニューヘア「NEW HAIR gain-G」では9位となった田浦宏光選手も大健闘です。第2部門レディスカット・パーマスタイルの西村昌紀選手も11位と健闘されました。成績如何に係わらず各選手本当によく頑張ってくれたと思います。感動をありがとうございました。

選手の皆さん、バックアップされた県教育部長・県講師の皆さん、県組合役員の方々、応援に駆けつけてくれた皆さんの心が一つとなり、このような良い成績を残せたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。来年の第30回全国理容競技大会は10月8日に「くまモン」が活躍する熊本県で開催されます。

来年も大活躍され素晴らしい成績を上げられますよう期待しています。

(県文化広報部 川村 哲司)



小島広大選手



花本真也選手



西村昌紀選手



田浦宏光選手



小笹栄治選手

